

発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

第19回 古墳を飾る埴輪

はにわ
—獅子見塚古墳(桂町)—

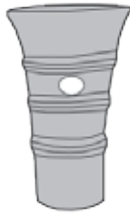


獅子見塚古墳

筑波南桂工業団地内の公園にある獅子見塚古墳は、全長約30mの前方後円墳です。墳丘から埴輪の破片が採集されており、築造当時は埴輪が並べられていたと考えられます。埴輪には、武人や巫女の人物埴輪や、馬や鳥の動物埴輪など数多くの種類がありますが、獅子見塚古墳で見つかった破片のほとんどは円筒埴輪です。円筒埴輪は土管のような形で、高さは数十cm～1m程度のもものが多く、中には2mを越すものもあります。古墳の頂上や



円筒埴輪の破片



円筒埴輪

まわりを取り囲むように列をなして出土する場合が多く、墳丘の崩れを防ぎつつ、古墳という聖域を区分する目的で配置されたと考えられます。獅子見塚古墳は発掘調査が行われていないので、古墳の詳細はわかりませんが、この地域の支配者が死後も自分の地位や力が続くことを求めて、古墳を築いたと思われる。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第52回

ニワトコ



①開花期の樹形：新地町斜面林下部(平成23年4月16日撮影)
②房状の果序の一部：新地町斜面林下部(平成22年6月22日撮影)

ガマズミ科(旧スイカズラ科)ニワトコ属の落葉低木で、高さ2～6mになります。日本全国の山野の林地や林縁に普通に見られます。市内では斜面林下部などに自生する他、植栽もあります。幹は写真①のように根も

とから枝分かれし、古い枝は樹皮が厚いコルク質になります。葉は対生し奇数羽状複葉、小葉は3～6対。花は新葉と同時に開き3～10cmの円錐花序で、花冠はクリーム色でかすかに香り、直径3～5mm、深く5裂し、裂片は長さ約2mm、花時に反り返り、果実(写真②)は長さ3～5mmの球形または卵形、夏に暗赤色に熟しますが、まれに黄色に熟すキミノニワトコがあります。若い葉は山菜や民間薬として用いられます。
※牛久の里山樹木ハンドブック44ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章：小松友枝、写真：渡辺泰)

文芸さろん | 卯月 |

手話の子の指ひらひらと花の風
子ら菓立ちテーブルの椅子一つ空き
さくら花ワイングラスにひらり舞う
畑打ちや今年はここに何植えよう
双葉町九年目にして畑を打つ
さりげなく裏木戸匂う沈丁花
いただきし露の薔苳で酔味増にし
そのほろ苦きに早春を味はふ
優しい孫も春には嫁ぐ

高階さん
和多田さん
長沢さん
静枝さん
秋穂 空
匿名希望
松岡さん

〈次回募集テーマは「春」「梅雨」〉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿いただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)